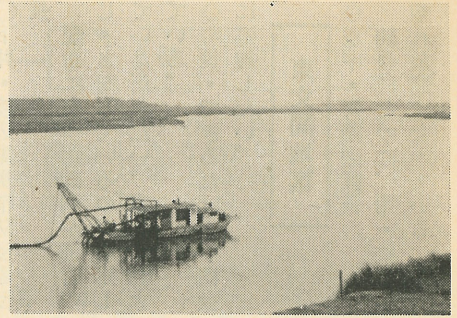




# 広報

# とね

茨城県北相馬郡利根町役場  
昭和42年9月10日発行 第41号



## 区長さんから要望を聞く

### 役場で町政懇談会

広く町内各部落の代表者から、町が当面する諸問題に対し、卒直な意向を聞き、今後の町政に反映させたい……という主旨のもとに、去る八月二日役場で町政懇談会が開かれました。

この日はまず、町長のあいさつに続いて ①選挙人名簿の登録について ②献血運動について ③町税一般について、それぞれ総務課長及び厚生課長、税務課長の説明があり、続いて懇談に移った。

【注】①は町内各家庭へ回覧済み②は広報とね第40号へあらましを掲載しましたので省略します。③も省略して、次に区長さんらの要望と執行部の回答をご紹介します。

#### 布川地区

○内宿・伊藤勝太郎区長

栄橋の掛け替えもいよいよ本格化した。取り付け道路等にかかる家の移転先きを考えていただきたい。

◇町長・町をあげて皆さんの不安のないようとりはかる。できるだけ早く、内宿部落だけでも説明懇談会を開きたい

と考えている。

○中宿・市川一男区長

交通量が多くなったので、道路の舗装を願いたい。

◇町長・財源は乏しいが、なんとか努力をする。

○谷原・高橋牛松区長  
町の開発もようやく芽をふ



写真は町内各地の区長さんをはじめ、消防団役員、議員の皆さんが、一堂に会して行なわれた町政懇談会。

このような会合は、今後も引き続き開いていただきたいという声がかかれた。

下水問題について、あげた泥の処理に困っている。

◇町にダンブカーがあるので厚生課及び産業経済課で研究し善処したい。

○上柳宿・和田野安五郎区長

が、他によい方法があるかどうか。

◇町長・高橋区長さんのご意見はありがたく拝聴しましたこのことは県の開発課に依頼して意欲的にやってみよう。

◇議長・議会としてお答えします。どこに開発の基本をおくかということは県へ依頼して専門家の調査が終わってから決めることになっている。

○馬場・香取平七区長  
側溝工事でせまい道路がなおせまくなるので、側溝のふたを考えてほしい。  
◇町長・あそこは県道ですので一日も早く県の方へ要望する。

#### 文地区

○横須賀・弓削一男区長

町の開発はよいことだが、市街地は別として、農道の整備について、せめて利根川の砂だけでもよいからなんとか考慮していただきたい。

○押付新田・寺田公区長  
学校へ通じる道路をよくしていただきたい。

◇町長・つねひごろから考えていることで、産業の振興という観点からも十分に意をつくしてやってみよう。現在町には、四人の道路工夫がお注 (2)頁へつづく

りますが、文・布川地区と文間・東文間地区に二人ずつ分けてやっている。従って以上の問題は逐次解消すると思いません。ご要請があれば、町にはダンブカーもあるので利根川の砂を運びたい。

○早尾・大野修区長  
がけくずれが一箇所あり、交通に支障をきたしている。

◇町長・できるだけ早く復旧工事にとりかかりたいが、おくれしている点についてはおわびをしたい。すぐに産業経済課長に連絡する。

○大平・五十嵐仙一區長  
大平は全部山なので、栄橋と関連した道路の新設を考えていただきたい。

◇町長・千葉竜ヶ崎線を五百メートル舗装することになっている。

○下井・渡辺重男消防団副団長

配布になった砂利が通行のじゃまをしているので善処していただきたい。事故も起きている。

◇町長・できるだけ早い機会に処理したい。

**東文間地区**

◇羽中・齊藤勲区長

純農村なのに、用・排水が荒れ放題になっている。個人

の力ではどうにもならないので、産業経済課あたりが主体となって利根町全域にわたって開発していただきたい。

◇町長・用排水路の問題は、豊田ぜきの管轄なので、十分話しあつてご要望に添うよう努力したい。

○立崎・赤尾津安消防団役員  
現在は大型機械の時代なので土地の交換分合について考えていただきたい。そうすれば用・排水路問題も自然に解決するのではないか。

◇町長・現在行なっている農業構造改善事業のアンケートの集計の結果やって行きたい

○立崎・岩戸義男区長  
排水堀しゅんせつ(浚渫)用のベルトコンベアを購入していただきたい。

◇町長・当初は考えたがなにしる一億予算なので実現できなかった。将来明るい見通しがつけばご期待に添いたい。

【注】昭和四十二年の利根町一般会計予算の総額は歳入歳出それぞれ一億七百七十五万八千円です。

○中谷・目本昭区長

このような会合を計画して下さった町当局に感謝する。しかし、きょう一日限りでなく、今後も続けていただきたい。次に一つだけ要望しま

す。

町から砂利をいただいたが砂をいっしょに心配していただければ、砂利や碎石がおちつくので好都合なのですが。

◇町長・まことにごもっともなことですが、ちょうどあの時期は陸田と重なって実現できなかった。しかし、今後はご期待に添うよう努力する。

**文間地区**

○押戸・飯田一郎区長  
文間の駐在所が廃止になったが、なんとか復活させていただきたい。

◇町長・取手署にお願いしたが、世帯数や人口の関係上から廃止になってしまった。しかしこれからも努力はする。

【注】文間駐在所が廃止になった理由は広報とね第38号をご覧ください。

○立木・上原茂区長

① 町の開発の中に当然はいると思いますが、営農指導について考えていただきたい。

② 文間中学の坂の排水問題を考えていただきたい。

③ きょうのように二つの会合(町政懇談会と農業構造改善事業の会合)が重なることのないよう縦横の連絡を十分考えていただきたい。

◇町長・① 現在は稲作やそ

菜等の栽培技術は、すでに最高水準に達しているので、それは別として営農の問題については、取手地区農業改良普及所と相談して善処して行きたい。

② 中学の坂はなおすことになつてはいる。

③ 今後はこのようなことのないよう十分検討してから会合を開くよう注意する。

○奥山・長沼緑区長  
奥山は坂が多いので土砂の流れるところはコンクリートにしていたいただきたい。

◇町長・産経委員会で現地を視察しているので早速善処したい。

町長の要望  
○区長会をつくつていただきたい。

○区長の任期を決めていただきたい。

○任期は会計年度としていただきたい。

**投書についてお願い**

今回は町政懇談会の模様を特集しましたが、以上のほかにも、農家にとつては切実な問題である用・排水のことについて、豊田ぜき土地改良区の代表監事である高橋牛松氏から豊田ぜきの現況についてくわしい説明がございまし

た。

さらに今回の懇談会は、町内各部落の代表者である区長さんのほかに消防団の役員の方々にも参加していただきましたので建設的なご意見やご要望が続出して記録も間に合わないほどでした。しかし、町内一般の方にも町政についてのご意見やご要望があるかと思ひますので、電話や有線でもけっこうですから広報係までお寄せ下さるようお願いしております。執行部と相談して紙上で回答したいと思います。

また、投書の場合は、できるだけ住所氏名をはっきりお書き下さい。

**今月の納税【9月】**

豊田堰区費(第2期)

家畜掛金

国民年金(第2期)

(7・8・9月)

水道使用料

有線放送使用料

**9月のおもな行事**

- 愛の血液助け合い運動
- 性病予防週間
- がん征圧月間
- 敬老の日
- 秋分の日

(3)

典 事 報 広

まちがって使われている言葉

浚渫

○しゅんせつ 正しい  
×しゅんちよう あやまり

しゅんせつとは、水底をさらって土砂や岩石を取り去ること。

ある会合が開かれたとき、用排水路の底さらいのことを、ほとんどの人が用排水路のしゅんちようと言っていた。また、町の書類などにも排水路のしゅんちよう：と書かれているのを目にしたことがあったが、これはあやまりである。したがって「浚渫船」は「しゅんせつせん」が正しい。

言葉は正しく使うよう心がけましょう

(広報係・山田)



オリンピックの杉岡選手

母校の布川中学校を訪問

現在、八幡製鉄で第一線の選手として活躍している、オリンピックの杉岡邦由選手が去る八月六日母校の布川中学校にひよっこり姿を見せました。

のクラスメートと共に、一メートル八十余の堂々たるからだを自由に駆使して、好プレーを演じ、居合わせた人々を感心させました。

【写真はオリンピックに連続二回出場の杉岡邦由選手。昭和32年布川中学校卒業】

この日、同選手は布川中のバスマットコートを中学時代

和32年布川中学校卒業】

七月展に思う

第四回利根町美術展覧会

生活は美の中から

予定どおり第四回利根町美術展は、7月22日、23日の両日、光竜会、白竜会支部の共催のもとに公会堂で開催されました

目的があるのではなく、これをおして、鑑賞者に何かを訴えるということにあります。

いつものことではあるが、次回こそ十分に準備をしてやろうと会員の間で申し合わせをするのですが、いざとなると思うように準備もできずこんどもまぎわになって、てんでこまいをしてしまいました。わたくしたちの開催する展覧会は、展覧会そのものに

その意味では、こんどの展覧会は、出品の数こそいつもより少なかったが、よかつたということが言えると思えます。出品の数が少ないといつても、絵画だけで約五十点あり、その中には「現展」に出品された鈴木重雄、斎藤広、両氏の大作、また野口秀美さんの大作など、会員の力作が

いくつかありました。中でも六十余歳で農事のかたわら描いた鬼沢仁四郎氏の「努力」などは文字どおり努力そのものでした。

特別出品された二科会の審査員服部正一郎画伯の「水郷」と題する小品には目をひかれるものが多かったようです。

こうしたわけで、七月展もますますというところで終わりましたが、もう一つの目的に向かつて

仕事をするということは、たいへんなことであり、それだけにその事に打ちこんで待つ人がほしい。ほしいといつて待っているのではなく、わたくしたちが新しい美術を創造してゆくように作ってゆくという努力がなによりも大切なことではないでしょうか。

(光竜会員M・N生)

【写真は第四回美術展】

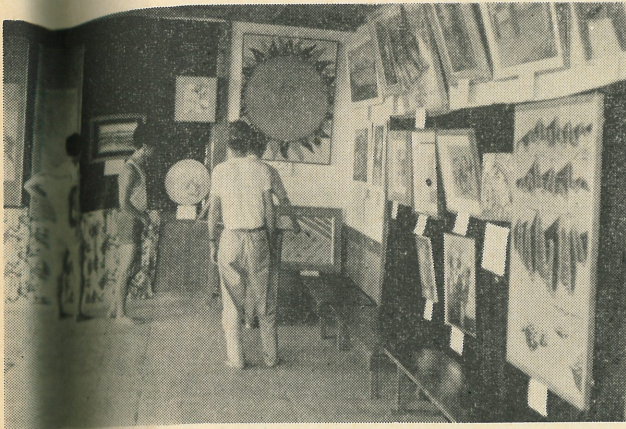
九月十五日は

「敬老の日」

「敬老の日」は、昭和四十一年から「国民の祝日」に加えられました。

いうまでもなく、この祝日は、多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うとともに、とかく孤独でみじめな生活に陥りやすい老人の生活を明るく、ゆたかなものにするため、すべての人が老人福祉についての関心と理解を深め、平和な家庭明るい社会をつくり、また、老人自身も時代とともに生きる意欲を盛りあげようとするものです。

老人のいちばんのそんでいふことは老人らしい生活を営むこと、ということだと思います。



# 商工会だより

## ◆店舗診断実施

八月十七・十八日の二日間 東文間、文間、文地区の一部の店舗診断を行いました。経験、知識共に豊富な土田先生、県連合会小室課長のお話は、たいへん現実的でおもしろく、模様がえなども、最小の経費でできるよう設計図をかいて下さいました。ちょうど改装等を考えておられた店もあり、よい参考になると各地で好評でしたので、今後各町内のお店を美しくするために、どんどんやってみて行きたいと思います。

## ◆九月事業のお知らせ

◆さつきながら九月二十一日、二十二日に店舗診断を行います。ご希望の方は、事務局へお申し込み下さい。

## ◆接客と包装技術の講習会

日時はまだ未定ですが、会員の方々の真に参考になる講師を依頼する予定です。

## ◆建築一般講習会

日時については早急に決定して会員の方々に文書でお知らせいたします。会員でない方もぜひおいでになって下さい。

◆茨城県商工貯蓄共済組合が

設立されました。八月七日水

戸市で設立総会が開かれ、各市町村単位の支部はまだ結成されておりませんが、小規模事業者の融資機関としても今後の発展が期待されます。商工貯蓄組合がないのは全国で東京都だけになりました。

(利根町商工会事務局)

# 婦人も熱心に聴講

## 人気集めた稲作技術講演会

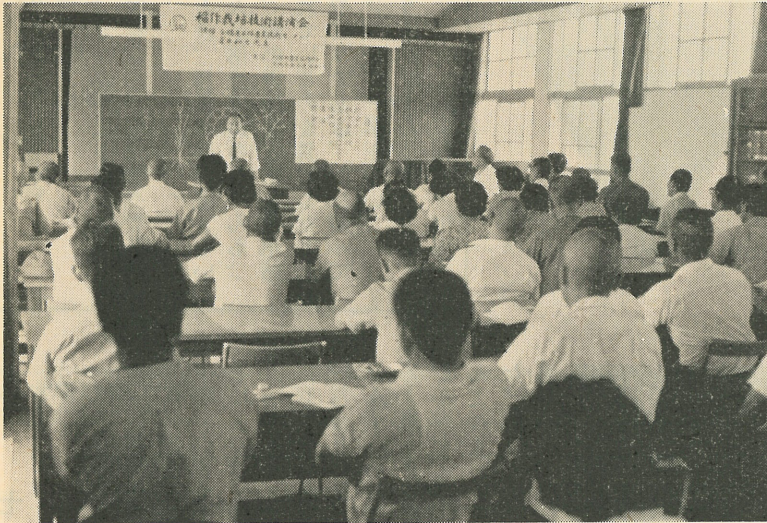
「稲作栽培技術への方向性」についての講演会が八月二日 神奈川県農業技術センターの所長、夏井和七先生をお迎えして、東文間小学校と利根町公会堂の二箇所で行なわれました。

熱心に「メモ」する婦人の姿も見られ、稲作研究への熱意が感じられました。いままでは男性(主人)を主として構成されていた農業形態も「部分協同」とか「請負耕作」とかの方法に切り替えられようとしております。

一方では利根町のように、部分的ではあるが、婦人を中心に移行しつつある現状です。しかし、いずれの形態も障壁は高く、その壁も厚いわけですが、やがてはその土地にあった方向へと進められ、その構成もいろいろと変化して行く事と思われれます。

また最近では、農機具のめざましい発達に伴い、めまぐるしいほどの機種が市販されておりますが、我々生産者は、もしかすると栽培技術を忘れ農機具に対する関心が必要以上に寄せられているように感じられます。

農協も機械の進歩同様、栽培技術はいうまでもなく、育苗や施肥設計等に関する技術講演会や農業経営などの説明会をたびたび催す計画です。稲作技術ばかりではなく



写真は、8月2日東文間小学校で行なわれた稲作栽培技術講演会。会場には熱心にメモする婦人の姿も見える。

農業全般にわたる発展のためぜひとも農家の皆さんのご参加をお願いいたします。

(利根町農業協同組合)

庁内人事

【退職】 八月三十一日  
花嶋 弘子 (教育委員会)



## 広報文芸

俳句: SY生

藁屑を焼く日の匂う野道かな  
菓子屑を蟻よ運べと呉れてやる  
種子取るや身ごもりし妻いたわりつ

町勢 (昭和42.9.1現在)			
世帯数	1,767		
人口	8,741	男 4,278	女 4,463
発行所	利根町役場		
町長	加納久頭		
編集	産業経済課広報係		
電話	[利根] (029768) 9番69番		
印刷	倉沢印刷株式会社		